

## 伊奈町と伊奈氏

伊奈町は、埼玉県の南東部、都心から北へ約40km圏に位置し、西境に原市沼川、東境に綾瀬川が流れており、東部は蓮田市、西部は上尾市、北部は桶川市に接する東西2.5km、南北7.5km、面積14.79km<sup>2</sup>の概ね楕円形の形をしています。

町内の地域からは旧石器時代の石器、縄文・弥生時代の土器や集落跡、平安時代の製鉄関係の遺構などが数多く発見されており、古くから人々が住んでいたことがわかります。

戦国期には岩付太田氏、同末期には小田原北条氏の支配下にあり、丸山まがひに関伽井坊せがひ（赤井坊）という有力寺院がありました。天正18年（1590）豊臣秀吉による小田原攻めの後、徳川家康の関東入国に伴い、伊奈忠次は鴻巣・小室で1万3千石（1万石とも）を与えられ、関伽井坊を倉田の明星院（桶川市）に移し、跡地に陣屋を築きました。忠次は、ここを拠点に関東の治水と新田開発等に貢献しています。

江戸時代、町域には小室宿村など12か村がありましたが、明治8年（1875）小室宿村、別所村、本村（山田村）、丸山村、小貝戸村、柄山村、中荻村、柴村の8か村が合併して小室村が、同22年には大針村、羽貫村、小針新宿村、小針内宿村の4か村が合併して小針村が成立しました。その後、2か村の体制が続きますが、昭和18年（1943）の第二次世界大戦の戦時下に、行政の簡素化を期して両村が合併します。その際、新しい村名として採用されたのが、江戸時代に活躍した郷土の先覚者伊奈忠次にあやかった「伊奈」です。こうして誕生した伊奈村は、昭和45年（1970）11月1日に町制を施行し、現在の伊奈町となりました。

昭和58年（1983）になると、東北・上越新幹線の開通に伴って、伊奈町と大宮市（現さいたま市）を結ぶ埼玉新都市交通伊奈線（ニューシャトル）が開業します。交通路の整備、各種施設の設立等を発端に、伊奈町は急速に都市化され、都心よりの近さとも相俟って人口が急増し、今では首都圏のベッドタウンとしての様相を呈しています。

現在、町では「ずっと住みたい緑にあふれた安心安全なまち」を目指し、21世紀にふさわしい新たなまちづくりが進められています。

### お問い合わせ先

伊奈町教育委員会生涯学習課 文化財・町史係

〒362-8517  
埼玉県北足立郡伊奈町大字小室9493番地  
TEL 048-721-2111（内線2546）FAX 048-721-4851  
ホームページ <http://www.town.saitama-ina.lg.jp>

▼伊奈忠次PR映像

